

点検

株式会社 北海道日立システムズ
プラットフォーム・フィールドサービス事業部
フィールド・サービス本部
全道フィールドサービス部 苫小牧SC

村 田 貴 行

一日のはじめ、ズボンのポケットの上をポンポンと叩く。忘れ物点検だ。ポケットのどこに何を入れるか決めておけば、ズボンをはき替えても忘れ物は防げる。はず。基本動作や習慣化された良い行動は身を守る。だから、やる価値がある... というより、凡人はやるしかない。それでも心得不足でミスは起きてしまうこともある。基本動作には正解がない。その日その時その場所で最適解を探す。いつか同じ状況下に置かれたとき、自分に問いかけ、何度もその最適解が有効だったとき、正解と思えばいい。私は点検が好きだ。点検のために仕事をしているとまでは言わないが、埃を飛ばし注油をしてやると機械がいい音をだしているようで、気分がいい。それはさておき、点検は基本動作の実践には良い機会だ。やることはいつも同じ。手を抜き、何かを見落とせば稼働率は下がる。基本動作も同様に、やらなければミスが起き、危険予知能力も錆びついてしまう。時々、真面目だね、几帳面だねと言われる。聞こえがいいが、正直あずましくない（居心地が悪い／落ち着かない）。何も起きなかったから基本動作をしなくていいと思ったときには、もう安全の土台がぐら

ついている気がする。だから、基本動作をしないという選択肢はない。ある機器の定期点検で、機器の不調を見つけた。ローラーを清掃するためハンドルを回すが、いつも通り回らない。エラーログでも特に問題なかったのは確認している。なした？とハンドルが連動する駆動側を確認すると、タイミングベルトのプリー固定ネジが落ちていて空回りしていた。ネジを締めると何もなかったようにローラーが回った。こんなことがあると、ついつい機械にお辞儀をしてしまう。失敗やミスで拳を握りしめるのは嫌だ。小さなことでも喜びでグッと拳を突き上げるほうがいい。基本のイロハ覚えたつもり、やらなきゃ必ずミスをする。基本動作を習慣化し身に着ければ注意していなくても自動的に気づき、ミスを防げる。その喜びもまた基本動作を継続する原動力になる。一日が終わり、今日を振り返って出来たこと出来なかったことを思い出す。柔軟に器用にできている人の真似て、出来ている気になったり、一度きりの成功体験に酔いもせず、背伸びしていないか点検をする。また明日になったら、私はポケットをポンポン叩いて一日を始める。